

天然微生物製剤と微生物由来の酵素を用いた  
**消滅型生ゴミ処理システム**  
**「GoBioシリーズ」**



株式会社BHG (BioHitech Group)



株式会社TakePlus (TakePlus Co., Ltd.)

## Core Values

### ①環境にやさしい分解技術

「GohBioシステム」は、微生物と酵素を利用した生ゴミ処理設備です。自然に発生する生化学的分解の工程を最適化した製品で、物理的処理を行う粉砕機、乾燥機とは根本的に異なる技術を使用しています。

### ②環境のための生ゴミ処理

「GohBioシステム」は次の世代により良い環境を残す為の環境に優しい生ゴミ処理設備であり、ゴミの埋め立てにより発生する衛生上、スペースの使用など様々な問題点を根本的に解決します。

## Key Technologies

### ①天然微生物剤と微生物由来の酵素剤

「GohBioシステム」は天然微生物剤と微生物由来の酵素を利用して生ゴミを化学的に速やかに、効果的に、下水に排出できるレベルまで分解します。微生物剤、酵素はアメリカおよび韓国政府から安定性を認証・洗練された製品を使用します。

### ②設備運用の最適化

「GohBioシステム」は設備の運用を最適化するために様々な測定センサーが配置されています。生ゴミの重量、内部湿度、温度センサーをつうじ、最も効率的な運転状況を維持します。

### ③品質重視

「GohBioシステム」は厳格な品質管理を通じて生産されます。生産拠点はISO9001及び14001認証を取得、システムはETL国際認証を取得しています。

# GohBioシリーズの特徴



## ●主な特徴

- ・全自動、生ゴミを入れて扉を閉めるだけ
  - ※投入量、処理量、消費電力、水量など自動計測機能
- ・微生物と酵素の力で下水放流可能な水まで分解
- ・操作パネルで簡単操作
- ・ランニングコストが安価
- ・嫌な臭いを発生しにくい（処理が早い）
- ・メンテナンスも簡便
- ・投入量、処理残量も操作画面に表示
  - ※オンラインで集中管理も可能（オプション）
- ・処理量3トン/日まで対応の大型機まで

## ○処理できるもの

肉、野菜、果物、動物の骨、  
貝殻、卵の殻、油脂類など

## ×処理できないもの

金属類、プラスチック、ゴム、  
木片紙類、ガラスなど

## 特徴その1 生ゴミの残渣をいっさい残さず処理が可能



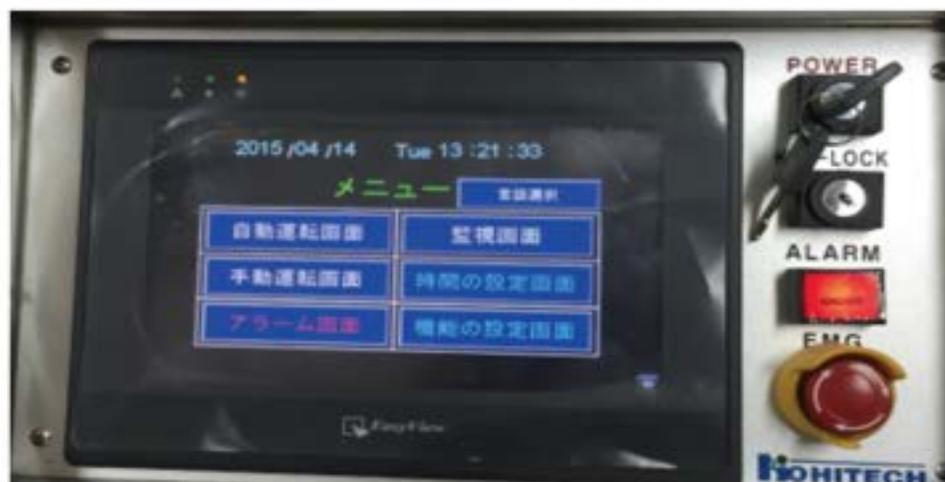
ハイテックの最大の特徴は、バクテリアを使ったバイオ技術により、生ゴミの残渣をいっさい残さず処理が可能ということです。発生するものと言えば、生ゴミを分解消滅させた時に発生する「水」だけです。こちらも自動的に下水道に排水されます。

## 特徴その2 独自のバイオチップが驚異の処理能力を実現します！新開発のバイオチップ



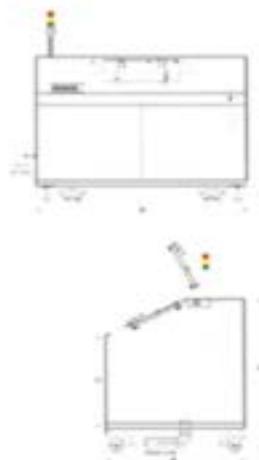
ほとんどのバイオ系ゴミ処理機にはおがくずが使われておりますが、取扱いのストレスや独特のニオイ、見た目もあり、作業員にも負担となっております。弊社で開発した生ゴミ処理機と他社の製品との最大の違いは生ゴミを処理する際のチップにあります。従来使用されているおがくずやチップは処理回数が増えると排水時に色が出てしまい交換などをしないといけないうのが手間でしたが、弊社が独自で開発した「バイオボール」は排水時の変色、交換の心配がありません。おがくずは使わないのでクリーンでしかも繰り返し使えて経済的。

特徴その3 迷わずだれでも安心して簡単に操作できます。



事前にプログラムをしておくだけの、簡単操作パネル。難しい操作は一切ありませんので、迷わずだれでも安心して簡単に操作できます。作業員コストもほとんどかからず、管理もらくらく♪

特徴その4 コンパクトなのに大量の生ゴミを短時間で処理が可能です。



最大で約750キロの生ゴミを24時間で処理できるすぐれもの！しかも人件費問題やスペース問題の解消！しかも肉、魚、野菜、果物、動物の骨、貝殻、卵の殻、油脂類、ほぼ全ての生ゴミを消滅処理して水に替えます。

Point  
1

全自動なので処理する物を入れて扉を閉めるだけ



Point  
2

メンテナンスも簡単 ※補充材は別途購入が必要となります。



**酵素はそのまま入れるだけ。**

※目安：約2～3か月に1回



**槽内を水で定期的に洗浄。**

※目安：3ヶ月に一回 (状況による)



**消臭剤は減れば入れるだけ。**

※レベルゲージや液晶画面で確認



**菌床は摩耗で減れば追加**

※槽の底から回転軸の高さまで補充必要  
※補充のタイミングは底から回転軸までの嵩が半分以下になった場合

Point  
3

機械稼働時の音も静かで、扉の開閉時の嫌な臭いもしない（好気性分解）



ココがポイント!!

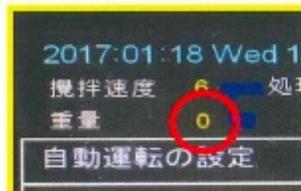
お湯とヒータ保温にて、  
『槽内温度を35℃～45℃』  
に保ち、さらに消臭剤の噴霧により  
『槽内を好気性に維持』

Point  
4

高性能液晶タッチパネルで簡単らくらく操作 ※屋外用防水仕様もあり



1. 投入量、処理残量も一目で確認



2. 投入タイミングもシグナル灯で瞬時に把握



青は投入OK



黄は投入制限  
(重量オーバー)

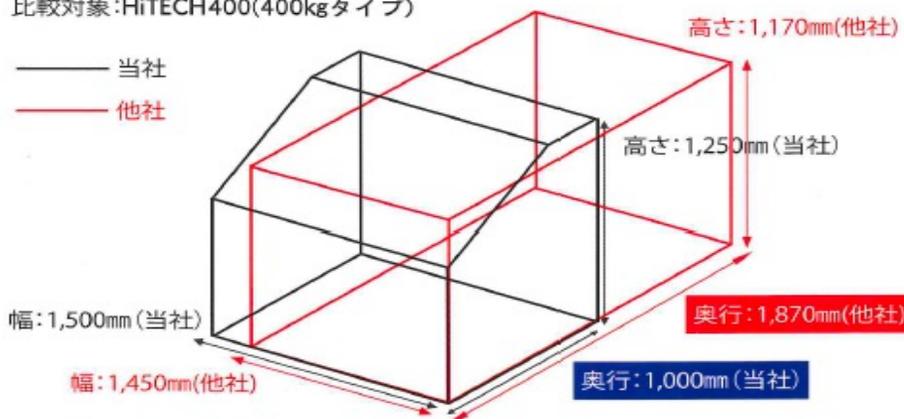


機械エラー  
(自動停止)

## Point 5

### 大容量処理なのに圧倒的なコンパクト設計

比較対象: HiTECH400(400kgタイプ)



#### 他社比較① ※同程度処理能力機

1日の処理能力 (小さくても能力あり)  
400kg(当社) > 350kg(他社)

#### 他社比較② ※同程度処理能力機

機械のサイズ (奥行に大きな差がある)  
1,000mm(当社) < 1,870mm(他社)

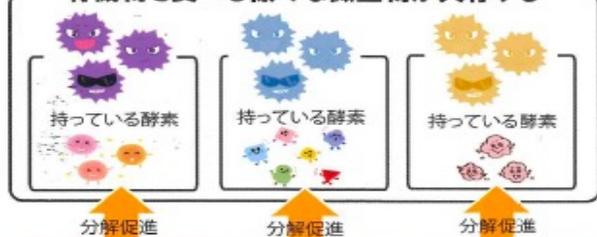
## Point 6

### 微生物と酵素の関係性と分解の仕組みによる大きな利点

#### 有機物



有機物を食べる様々な微生物が共存する



バイオハイテックオリジナル天然酵素

#### 有機物が元々持っている微生物の働きを酵素で活性化

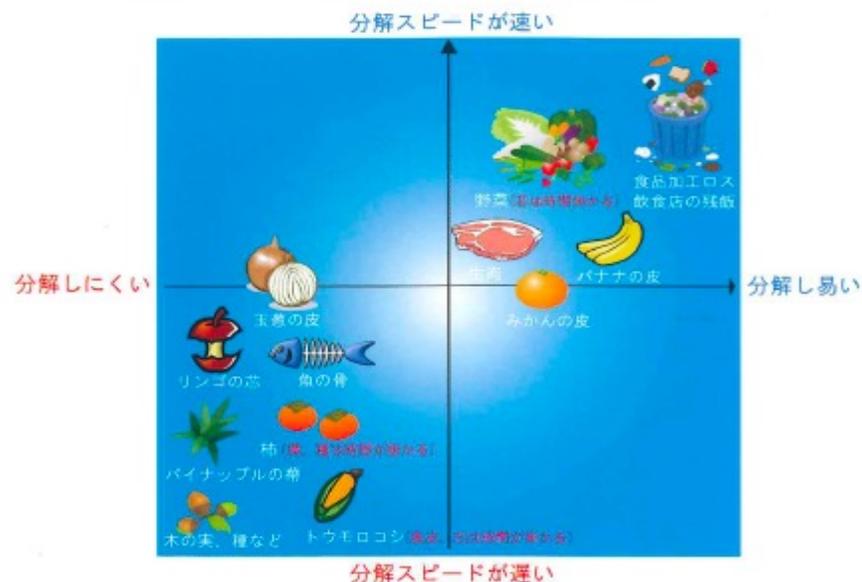
私達の身近にある、食物には元々微生物がいる為、そのまま放置していても、微生物が自ら持っている酵素を利用して、分解して無くなってしまいます。この微生物による、酵素分解を活性化させる為にオリジナル天然酵素を追加することで、分解スピードを大幅にアップさせます。(※触媒的な役割です) 当社装置がコンパクトなのに処理能力が高いのは、この事が大きな理由です。

#### 酵素とは？

有機物を壊していくときに使う便利な道具(ハサミ)の様なものです。有機物の微生物たちは、その種類によっていろんな酵素をたくさん持っています。人間が場所と用途によって、道具を使い分ける様に微生物たちも各々の酵素を上手く使い分けながら、微生物同士が力を合わせて有機物を分解していきます。

Point  
7

処理出来る物と処理出来ない物（分解に時間がかかる物）



分解が出来ない物



Point  
8

様々な環境に対応したオプション項目も多数

大型機対応自動投入機

重量物の都度投入を解消！



完全カスタム仕様

スペースが限られている方  
作業環境が限られている方



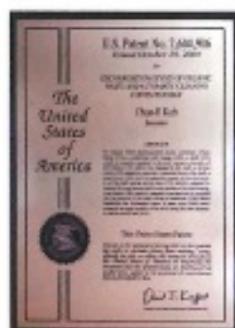
cloudでデータ管理

店舗、工場数の多い方



# 世界各国で多数の特許を取得

ハイテックの技術は世界中で認められ、各国で多数の特許を取得しております。  
そのライセンス証を一部掲載。



# 特許証



特許証  
CERTIFICATE OF PATENT

特許第6373326号  
PATENT NUMBER

発明の名称  
TITLE OF THE INVENTION

生ごみ処理装置

特許権者  
PATENTEE

アメリカ合衆国 ニュージョージー フォート  
ラー 2イー リンウッド アベニュー 2  
352  
国籍 アメリカ合衆国  
ジェームズ チュン コー

発明者  
INVENTOR

ジェームズ チュン コー

出願番号  
APPLICATION NUMBER

特願2016-207438

出願日  
FILING DATE

平成28年10月24日(October 24, 2016)

登録日  
REGISTRATION DATE

平成30年7月27日(July 27, 2018)

この発明は、特許するものと確定し、特許権簿に登録されたことを証する。  
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED IN THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成30年7月27日(July 27, 2018)

特許庁長官  
COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE

宗像直子



特許証  
CERTIFICATE OF PATENT

特許第6530470号  
PATENT NUMBER

発明の名称  
TITLE OF THE INVENTION

生ごみ処理装置及びこれを含む処理システム

特許権者  
PATENTEE

アメリカ合衆国 ニュージョージー フォート  
ラー 2イー リンウッド アベニュー 2  
352  
国籍・地域 アメリカ合衆国  
ジェームズ チュン コー

発明者  
INVENTOR

ジェームズ チュン コー

出願番号  
APPLICATION NUMBER

特願2017-218890

出願日  
FILING DATE

平成29年11月14日(December 14, 2017)

登録日  
REGISTRATION DATE

令和1年5月24日(May 24, 2019)

この発明は、特許するものと確定し、特許権簿に登録されたことを証する。  
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED IN THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和1年5月24日(May 24, 2019)

特許庁長官  
COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE

宗像直子

# 製品ラインナップ

Model Type	Superbio 100-V	Superbio 180-V	Gohbio 400 lb	Gohbio 800 lb	Gohbio 1200 lb	Gohbio 1500 lb	Gohbio 2500 lb	Gohbio 3500 lb	Gohbio 5000 lb
処理能力(kg/時)	4.2	7.5	8.3	16.7	25	31.3	52	72.9	104.2
処理能力(kg/日)	100	180	200	400	600	750	1250	1750	2500
サイズ (W/D/H)mm	660/520/1000	950/690/1170	1200/750/1150	1500/1100/1250	1700/1100/1250	1800/1100/1300	2000/1275/1450	2350/1420/1775	3200/1800/2215
重量 (kg)	180	310	330	420	500	620	750	1000	1500
モーター能力 (kW)	0.18	0.25	0.55	1.1	1.5	1.5	2.2	2.2	3.75
バイオボール (ℓ)	20	30	50	100	120	150	180	200	250
ウッドボール (kg)	10	15	25	50	60	75	90	100	125
酵素 (ℓ)	1	1.5	2	4	6	8	10	12	20
電気使用量24Hr	6.67KW	8.95KW	12.31KW	17.59KW	21.19 kW	23.59KW	31.27KW	33.19KW	38.71KW